

結節性硬化症患者さんの新型コロナウイルス感染症への対応について

最近、日本における新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け、結節性硬化症の患者さんやご家族の方は、とても不安な毎日を送られていると思います。日本結節性硬化症学会として、患者さんの安全、ご家族の方の安心を高めるための情報および対策をまとめました。

① 結節性硬化症随伴疾患に対し、アフィニトールおよびラパリムス（内服薬）による治療を受けている患者さんへ

アフィニトールやラパリムスを服用していると、体内の免疫能が低下し、新型コロナウイルス感染症にかかると、重症化しやすいと予測されます。患者さんおよびご家族の方は、体温の測定や全身状態の観察を今まで以上に丁寧にしてください。

またアフィニトールおよびラパリムスによる治療継続の必要性や発熱や咳などの呼吸器症状出現時の対処について、主治医の先生に確認されることを勧めます。

*患者・家族の方々に分かり易いように、商品名にて説明しております。

② 抗てんかん薬を服用されている患者さんへ

てんかんに対する抗てんかん薬の服用はとても大切です。抗てんかん薬を中止するとてんかん発作が増悪するため、継続しなければなりません。

今後首都圏においてロックダウンが起こると、医療機関に通院することが困難になるかも知れません。そのため、抗てんかん薬の残りがいつまであるかを確認し、概ねひと月以内に切れる場合には、ロックダウンが決まった時点で直ちに通院している医療機関に連絡を取って対応策を相談するなど、事前に検討されておくことを勧めます。

③ 障害者施設へ入所されている患者さんへ

新型コロナウイルス感染症は高齢者や基礎疾患を有する患者さんは重症化しやすいと言われています。

障害者施設においては、ウイルスを持ち込まない、拡げないことに留意してください。

既にマスコミ等で紹介されていますが、厚生労働省が提示した感染対策マニュアルを遵守し、マスクの着用、手洗い、手指消毒用アルコールの使用等感染経路を遮断する取り組みを行ってください。

ご家族の方の面会も緊急時ややむを得ない場合を除き、極力制限するようにしてください。

日本結節性硬化症学会